

自然と文化科 北山緑化植物園観察会 活動記録

日時	2024年3月22日（金）	担当者
場所	一般コース；苦楽園口～北山緑化植物園～北山貯水池周辺 楽々コース；北山緑化植物園～北山貯水池～自然観察池～バス停	文・写真 松川淑子
備考	天気；晴れ 最高気温；13度 参加者；59名+来期入科予定者1名 1班－17名（3名）・2班－15名（2名）・3班－13名（5名）・4班－14名（4名） 一般コース－45名+1名 楽々コース－14名 （ ）内の人数は班の楽々コース参加者 各班リーダー；1班 - 松川・2班 - 藤原（泰）全体リーダー・3班 - 藤本・4班 - 谷坂 楽々コースリーダー；児玉（敬称略）	

【一般コースの報告】

10時には苦楽園口駅東側夙川公園に全員集合する。まず観察専任幹事の遊上さんより挨拶、続いて大沢代表より今季最後の全員での観察会で怪我のないようにとの挨拶、最後に全体リーダーの藤原泰子さんよりコースの注意点の話があり、2－3－4－1班の順で観察開始。



公園内に植栽されているナギイカダ（葉状枝に咲く雌花をルーペで覗く）・オオキバナカタバミ・エノキ・ハゼノキ・ヤハズ（カラスノ）エンドウ・スズメノエンドウ・ノジスミレ・キュウリグサ・シハイスミレなどの草本を観察、途中にオオバベニガシワ（中国原産）が植栽されていて初めて見た、との声多数あり。11時20分銀水橋に到着、ここから登りになるので衣服調整と水分補給をする。岩の階段が続き途中には、ヒメユズリハ・ヒサカキの雄花・雌花、ホラシノブ（冬に紅葉するシダ）が多数あり。

池の花見広場では早咲きのサクラがほぼ散っていた。北山緑化植物園ではツバキに半寄生するヒノキバヤドリギを観察して、ここで昼食とした。

ここで楽々コース参加者と会う。昼食後は、北山山荘で山野草を観察して、本日のメインのクロキを観察する為に北山貯水池へ向かう。ハゼノキの種子・オオバヤシャブシ・ハンノキ・サクラバハンノキ・イボタノキなどを観察してクロキが多数咲く観察池へ向かう。下見では3本と思っていたがバス道にもたくさん黄色い葯を付けた白い花が咲いていて群落となっているように思う。

1班は、15時前にバス停で解散、バス乗車組と甲陽園まで歩く組に分かれた。（お疲れ様でした）



ヒノキバヤドリギ



クロキ



ベニバスモモが咲きだしました

【楽々コース】最後の観察池までは11人参加、クロキの観察に満足して14時30分に解散した。

【最後に】クロキが群生していますが、西宮市が（？）何時・何故植えたのか知りたくなりました。